

2023年12月13日
株式会社アイレップ

アイレップ、書籍「デジタルマーケティング用語図鑑」出版 および出版記念ウェビナー開催のお知らせ

株式会社アイレップ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長 CEO：小坂洋人、以下アイレップ）は、書籍「デジタルマーケティング用語図鑑」を出版したことをお知らせいたします。執筆は、アイレップ 執行役員 竹内哲也が担当しています。また、本書の出版を記念して、出版記念ウェビナー※の開催が決定いたしました。



昨今、デジタルマーケティングやDX分野の急激な進展により、国内ではデジタル人材の不足が大きな課題となっており、DX推進におけるデジタル技術やデータ活用に精通した人材育成の問題が深刻化しつつあります。また一方で、新たなテクノロジーやツールが頻繁に登場するなか、当分野にまつわる専門用語は日増しに増加傾向にあります。それに伴い企業のマーケティング担当者は、実践スキルを学びつつも常に最新の知識やトレンドを理解していなければならない環境下において、短期間かつスムーズに基本・関連用語を習得していく必要があります。しかし市場では、デジタルマーケティングに特化した体系的なことを学べる参考書（用語集）が不足しており、すぐに実践に役立つ十分な情報を、わかりやすく提供する書籍が出回っていないのが現状です。

そこでアイレップでは、こうした状況を打破すべく、デジタルマーケティングで頻繁に使われる基本用語を256語ピックアップし、基本用語に関連用語がそれぞれ3語紐づいている形式で、計1,024語を学ぶことができる書籍「デジタルマーケティング用語図鑑」を刊行しました。企業のマーケティング担当者はもちろん、業界初心者から経験者の方ま

で、幅広い層に向けてデジタルマーケティングの専門用語をわかりやすく解説し、イラストを使用することでより直感的で覚えやすい内容に構成されています。本書により、読者はデジタルマーケティングの世界を効率的に学び、施策の企画・管理・分析で使用される用語や知識、実践的なスキルを身につけることができます。

【書籍概要】

書名：『デジタルマーケティング用語図鑑』
 購入サイト：
<https://www.shoeisha.co.jp/book/detail/9784798182704>
<https://www.amazon.co.jp/dp/4798182702/>
 形式：書籍
 仕様：296 ページ
 定価：本体 1,800 円＋税
 出版社：翔泳社
 発売日：2023 年 12 月 13 日

本書の構成：

- 1 章：デジタルマーケティングの基本用語
- 2 章：狙った人に届ける広告・SEO 用語
- 3 章：情報発信を助けるオウンドメディア・SNS 関連用語
- 4 章：深い連携が必要なクリエイティブ・販促・営業用語
- 5 章：施策や社内システムを改善するための分析・開発用語
- 6 章：活躍するデジタルマーケターが知っている経営・経済用語
- 7 章：デジタルマーケティング業界で知っておくべき人物

Keyword 029

Machine Learning / Artificial Intelligence

機械学習とAI

大量のデータを解析・学習する技術

機械学習は、コンピュータが経験と学習を通じて業務タスクを上手に行う技術。データからパターンを学び、予測や決定を行う。AI（人工知能）は、コンピュータが人間のように学び、問題を解決することを目指す技術。機械学習とAIは、データ分析や予測モデル作成などに広く応用され、自動化や効率化のために重要な役割を果たしている。



用語に関連する語

<p>教師あり学習 データからパターンや関係性を学び、予測を行うための強力な手法。この手法では、正解データを使用してモデルを訓練し、未知のデータに対する予測を行う。</p>	<p>教師なし学習 正解を与えずに学習する手法であり、教師あり学習とは異なる。教師なし学習では、正解が存在せず、回帰や分類の問題には適用できない。</p>	<p>強化学習 AIなどの学習者に対して何らかの選択をさせ、その選択に応じて与えられる評価（報酬）を通じて、評価が高くなる行動へと収束するように学習させる手法のこと。</p>
---	--	--

用語の使用例 「マーケティングに機械学習やAIを取り込んでみよう!」

関連用語 → ジェネレーティブ AI（生成AI）……P208（ディープラーニング）……P210

Keyword 030

Online Merges with Offline

OMO

オンラインとオフラインの融合

インターネット（オンライン）と実店舗（オフライン）をつなげる取り組みの1つ。消費者はネットで情報を探し、商品やサービスを調べた後、店舗で実際に買ったり、逆にネットで購入したりする。これにより、より便利で充実した買い物体験が可能になる。例えば、ネットで商品を探してから店舗で試着や試用して、翌日、ECで注文するなど。



用語に関連する語

<p>クリック&モルタル クリック&モルタルが実店舗に焦点を当てたビジネスモデルなに対して、クリック&モルタルはオンラインとオフラインを融合させたビジネスモデルのこと。</p>	<p>店舗スタッフ起点的OMO OMOをハード的な側面だけで捉えるのではなく、店舗スタッフを起点的として、店舗での接客体験と、ECでの買い物体験を結びつける新しい売り方が登場している。</p>	<p>モバイルオーダー アプリを活用して、来店前にスマートフォンから注文し、店舗で受け取る方法や、レジに並ばず注文・決済ができる方法など、その使い方も多様化している。</p>
---	---	--

用語の使用例 「OMO戦略にもとづいたマーケティング施策を実行しよう!」

関連用語 → クロスユース……P160 O2C……P161 ユニファイドコマース……P163

第1章 デジタルマーケティングの基本用語

著者プロフィール：

竹内 哲也 (タケウチ テツヤ)

株式会社アイレップ 執行役員 事業開発室 管掌

早稲田大学政治経済学部卒。NTT データ、コーポレートディレクションなどを経て、2014年にデジタル・アドバイジング・コンソーシアムに参画。2018年よりアイレップも兼務し、グループ全体の統合デジタルマーケティングを包括的に牽引。2019年度よりアイレップ専任執行役員。ソリューション部門の事業立ち上げを経て、現在は、自社サービス開発や事業提携・事業投資などに携わる。デジタル marketer 向けのサブスク型動画学習サービス「DIGIFUL アカデミー」の事業開発責任者。著書に『統合デジタルマーケティングの実践：戦略立案からオペレーションまで』（東洋経済新報社）や、『デジタル時代の基礎知識 BtoB マーケティング』（翔泳社）がある。モットーは「事業作りは、人作り！」。

以上

※「出版記念ウェビナー」詳細について

開催場所：オンライン (Zoom)

参加費：無料

タイトル：DX 人材育成で企業の競争力強化！リスクリングのポイント解説ウェビナー～『デジタルマーケティング用語図鑑』出版記念～

開催日時：2024年1月17日(水) 15:00-15:50

参加者特典：ウェビナー後のアンケート回答にご協力いただいた参加者様へ、書籍『デジタルマーケティング用語図鑑』をプレゼントいたします。※1社につき2冊まで

詳細ページ：<https://www.irep.co.jp/knowledge/seminar/detail/id=48817/>

■株式会社アイレップについて

アイレップは、クライアント企業のマーケティング成果を最大化する統合デジタルマーケティングエージェンシーです。クライアント企業の本質的なマーケティング課題に向き合い、戦略立案から施策実行まで支援いたします。国内トップクラスの運用型広告の実績とナレッジを保持しており、戦略立案からクリエイティブ企画・制作に加えて、CRM からマーケティング DX 支援まで対応可能なケイパビリティを強みとしています。今後もデジタル起点でのマーケティング領域を牽引する存在として飛躍して参ります。

※アイレップは博報堂DYグループの企業です。

—— 会社概要 ——

社名：株式会社アイレップ

所在地：東京都渋谷区恵比寿四丁目 20 番 3 号 恵比寿ガーデンプレイスタワー21F

URL：<https://www.irep.co.jp/>

代表者：小坂洋人

設立年月：1997年11月

資本金：5億5,064万円(2023年3月末現在)

事業内容：広告代理事業・ソリューション事業・クリエイティブ事業・その他

【記事転載・引用等に関する問い合わせ先】

●株式会社アイレップ

TEL：03-5475-2720(代) FAX：03-5475-2725

【報道関係問い合わせ先】広報担当 E-MAIL：pr@irep.co.jp

【弊社サービス内容に関する問い合わせ先】 E-MAIL：contact@irep.co.jp